

# PLUS ULTRA

～さらに向こうへ～

6学年  
第15号  
令和3年10月26日

## 小学校最後の運動会！みんなでやりきりました！

小学校生活最後の運動会。延期からずっとできる日を楽しみにしてきました。リハーサルでは失敗の方が多く、悔しい思いもしましたが、それも成長の糧としみんなで一生懸命練習をしていました。本番では、自分たちの種目に加え、運動会の運営、応援も行いました。みんなで運動会を成功させようと気持ちを一つにし、やり切ることができた運動会だったと思います。残り少ない小学校生活ですが、一つ一つの行事を自分の成長に繋げてほしいと思います。

保護者の皆様、運動会へのご参加、ご声援をありがとうございました。



今日は運動会本番。本当だったら五月に行われる予定だった。延期になったときは悲しかったけれど、十月に運動会をすると聞いてうれしかった。私達六年生にとっては最後の運動会。悔いが残らないようにしたい。本番で最高の演技ができるように練習から頑張った。けれど、なかなかうまくいかなかった。ずっとしていなかった表現は動きを忘れている部分もあり、思ったように練習が進まなかった。演技以外にも白組代表としての選手宣誓と準備係の仕事もあったこともあり、本当に成功するだろうか心配になった。誓いの言葉も覚え直した。なかなか覚えられず、心配になった。

本番の朝がきた。朝の練習でも思ったような声が出ない。不安な気持ちが大きくなった。開会式、名前を呼ばれた瞬間、さらに不安になる。走って前へ行く。私は今出せる限界の声を出した。選手宣誓は無事に終わった。耀満君や明日香ちゃんか

「よかったよ。」

と言ってくれた。他にも保護者の方からもよかったと言っていた。安心した。自分ではどう見えていたのかわからなかった。だからすぐうれしかった。

宣誓が終わると次は運動会の運営。私は準備係だった。今回は五年生と一緒にいった。リハーサルはどうしていいかわからず、自分から進んで動けなかった。リーダーシップを発揮することができなかった。応援することもたくさんあり、自分のことにしか意識が向いておらず、他の人に準備を任せてしまっていた。私たちは他学年のお手本になるような行動をしないとけない。自分から動いている友達のように、周りを見て行動した。準備係の仕事しながら私は、五年生の頃を思い出した。五年生のときミニ運動会や六送会等の運営をみんなで頑張ってきた。そのときのこと今回も活かしたと思う。みんなで協力して進めた運営。学級目標に近づけたと思う。

いよいよ私たちの番。高学年としてお手本になる行動、悔いが残らないように全力ですべての競技を行った。応援団もあり大変だったけれど、全てが今までが一番良かったと思う。行進は手と足をそろえてしっかりと上げた。きれいにそろったと思う。表現は今までが一番良かったと思う。風が強く旗がうまく動かせなかったけれど、一つ一つの動きを大きくして、細かいところまで意識して頑張った。

私は今回の運動会、悔いなく終われたと思う。六年生としての姿を保護者の方や先生方に見せることができた。次は運動会で学んだことを他の行事で活かしていきたい。これから、マラソン大会、学習発表会がある。最後のあいさつで結愛ちゃんが言ったようにこれからもみんなで協力してがんばっていきたい。

(松岡 桜彩)